



将来の武蔵小金井駅北口街づくりに備えて調査を

**五十嵐京子(改革連合)**  
 先の市長選挙で出た政策継続の民意に添えるためにもこれからの街づくりの課題を問う。(ア)武蔵小金井駅南口再開発の第2地区について、庁舎建設とともに市民要望の多い駅前保育園や駅前図書館の実現を望む。(イ)武蔵小金井駅北口に関し、地元の協議の場作

### 引き続き街づくりの推進を



りと、さらに武蔵小金井駅に特快停車の運動推進も含め、実態と将来予測の調査をしながら、(ウ)東小金井駅名変更を視野におき、南北の公園の結節点としてのイメージを高めるために、ウォーキングロードを作り、表示をしないか。**企画財政部長** (ア)新たな公

共施設配置をどのようにしていくかという計画策定が前提である。早い段階で計画策定を目指していきたい。(ウ)来年の市制50周年に合わせて検討してみたい。**都市整備部長** (イ)まちづくり条例の中の地区まちづくり準備会協議会の活用も考えられるので、説明しながら協議の場を作る方向で働きかけた。調査も早急に実施したい。その他に、「質の行革を進めるための課題」を質問しました。

### 「再開発」駅前ロータリー整備を先行すべき



**斎藤康夫(民主党市民)**  
 中央線の連続立体化工事は平成20年秋には上下線とも高架になり、市内の踏切が無くなる。一方南口再開発は地権者の一部と都市再生機構双方で訴訟が起これば再開発ビルの完成が遅れると新聞報道された。(ア)ビルは部分着工しているが、全てのビルが着工す

るのはいつか。(イ)市民交流センターの譲渡契約はいつか。(ウ)再開発ビルの進捗とは別に駅前ロータリーの先行工事は可能はずである。**開発事業本部長** (ア)現存するビルが除かれないと着工できないので、いつ頃着工できるか答弁できる内容ではない。(ウ)平成22年までに仮線、駅舎

を撤去して3期目の工事として上り本線の高架橋を構築するが、ある程度全面が高架にならないと、信号機のケーブル、高架事業の仮設事務所などが入らない。平成20年の上下線開通時には厳しい状況である。うまく暫定的に入るかどうかも含めて調整し、できるだけ早く駅前広場ができるように努力したい。**市民部長** (イ)議会の議決が必要。引渡し時期等条件がそろっていないので現時点では議会に提案できない。

**水上洋志(日本共産党)**  
 ①青年の雇用をめぐる現状は深刻である。失業率で他の世代の約2倍、24歳以下では2人に1人が非正規雇用で、労働法を無視した労働条件や最近「ネットカフェ難民」が問題となっている。この現状に市として対策が求められている。(ア)雇用の権利やルー

ルの啓発に努めないか。(イ)就業支援の強化を求める。(ウ)生活支援策の検討を要望する。**経済課長** (ア)ポケット労働法などホームページを通じ啓発していく。東京しごとセンター多摩と連携し労働講座など検討したい。(イ)雇用労働関係の情報をより細かく提供していきたい。(ウ)今後の研究課

としたい。**市長** 行政に頼らず頑張れというふうには言いたくない。②小中学校の教育条件の整備を求める。(ア)冷房設備の拡充を、特に特別支援学級はすぐに行わないか。(イ)アレルギーなど皮フの弱い子が増える中、プールの温水シャワーの拡充を求める。**学校教育部長** (ア)特別支援学級は要望に基づき整備していく。(イ)皮フ炎など衛生面での良さは認識している。緊急度に応じ対応していく。

### 青年の雇用問題に市の支援強化を求める



**鈴木洋子(公明党)**  
 道半ばの行財政改革について(ア)これからの課題とは何か、量から質への取組をどこまで進められるかが課題。(イ)市民サービス精神の徹底をするためにも、職員の研修制度の充実が必要である。民間に研修させるなど、工夫も必要。(ウ)現

在は内部の行政評価を行っているが、事業仕分けも研究して充実についてはどうか。時間外勤務は、申請制度を提案したい。また、責任に応じた給与制度にするべきだがどうか。**市長** (ア)行革は小金井市の最重要課題であり、まだ道半ばと認識している。今後は質の向上にも努めたい。(ウ)現在は内部の行政評価を行っているが、事業仕分けも研究して

いきたい。更なる行革を進めていく。**総務部長** (イ)現在も短期間でやっているが、拡大できるように今後とも研究していく。その他、市民に待たれるまちづくりについて、50周年に間に合うように要望。男女共同参画社会の実現は、まず市内から進めるように現状を指摘した。さらに市の財産である緑の保存や推進については、市に「緑の特区」を創って小金井の特徴を大事にしないかと提案した。

### 「マタニティマーク」の普及・活用について



**紀 由紀子(公明党)**  
 ①このマークは、公明党の提案で妊産婦にやさしい環境づくりのため、昨年、国で制定されたものだ。小さな命をサポートし、また社会全体で子どもを見守り育てる、という意識の啓発にもなっていくと考える。「マタニティマーク」を母子手帳の配布のとき

に、一緒に配布して欲しい。**福祉保健部長** 具体的に展開できるように準備を整えていきたい。②出産育児一時金の受領委任払い制度の活用は、どうなっているのか。**市民部長** 4月からスタートし1件の利用だけで、まだ多くの人がこの制度を知らない。

**福祉保健部長** 本市は交付税不交付団体で大変つらい。都に財政支援の要望を行う。その他に傾聴ボランティアの周知・活用について質問。



更なる行革に向けて

### 坂下ココバス実現をマンション対策充実を



**関根優司(日本共産党)**  
 ①中町前原の坂下のココバス実施に向け残された課題として、(ア)車両交通の時間規制を工夫できないか。(イ)道幅が狭いところはルート変更か。**都市整備部長** (ア)車両の時間規制は、車両を限定して走らせてもらう方向で交渉中。(イ)特別に認定して走らせる

のも可能だが、道路幅の方にも地主さんと精力的に交渉中である。②課によって情報公開の判断も違い、また請求する時期によって公開されるものも違う。統一の運用が必要ではないか。**総務部長** 今後ことあるごとに研修等を含め一定の考え

方を徹底していきたい。③毎年10件程度分譲マンションが増えている。マンション管理者懇談会の開催とマンションの相談窓口の設置を検討せよ。**都市整備部長** 今年4月から新設したまちづくり推進課の中で研究したいが、懇談会については今後の研究課題である。相談会については、現在都の分譲マンション相談を紹介しているが、今後研究したい。



マタニティマークの普及を